

# 京都市産業技術研究所 ユーザーズコミュニティ(UC)について

令和6年3月22日

(地独)京都市産業技術研究所  
知恵産業融合センター長  
永山 富男



(京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティの目的)

京都のものづくり文化の優れた伝統を継承し、発展させ、新しい時代の感性豊かで先進的な産業技術を創造することを目的とし、多様な主体による産技研 UCへの参画及び産技研UC会員相互の連携促進を図るものとする。

## 産技研UCで行う事業

### 京都ものづくり協力会事業

- ・京都ものづくり協力会で実施していた事業は、引き続き産技研UCで実施いたします。

### 企画委員会検討の事業

- ・企画委員会が提案した事業を実施いたします。

### 支援機関(産技研UCに参画する特別会員、団体会員等)との連携事業

- ・新たに参加していただく支援機関と連携した事業を目指します。

### 産技研事業についての発信

- ・会員の皆様に向けて、産技研事業の発信に力を入れ、より深く産技研をご利用いただけるよう努めます。

## 準備委員会でいただいたご意見

### ○コミュニティに期待すること、準備委員会におけるご感想

- ・研究会以外に、京都ものづくり協力会の活動に参加したことがなかったため、異業種と繋がることのできる機会があることはありがたい。
- ・外部から業界や分野を見て、全然違ったものの見方や価値観で捉えていただき、新しい価値が生まれる場にしていきたい。
- ・相談したら答えが返ってくる、互いを強化し合えるコミュニティにしていきたい。
- ・懇親会の開催も含めて、距離の近いコミュニティにしたい。
- ・準備委員会では、仮説を立てて検証していくようにしてもよいのではないか。
- ・準備委員会のように新たな人に知り合える、次は別の人呼んでこようかなと思えるのが成功ではないか。今回の委員会は成功と思う。

### ○活動の方向性

- ・会社としては、デジタル化、自動化、新製品開発、枯渇部品対応を行っていきたい。人材育成(不足や高齢化)が解消できるようなことができれば嬉しい。
- ・様々な素材に興味があるので、素材の勉強会等をしたい。
- ・工場見学や現場視察、産技研で異分野の技術体験を試みたい。

## 産技研UCの構成

<アドバイザーボード> 会員を代表して、産技研UC活動に対する助言やアドバイスを行う。

産技研UCは『京都ものづくり協力会』を引き継ぎ、産技研事業として進めていきます。

### 研究会会員

京都合成樹脂研究会

京都工芸研究会

西陣織物研究会

京染・精練染色研究会

京都酒造工業研究会

京都セラミックフォーラム

京都染色研究会

京都先端技術研究会

京都陶磁器研究会

鍍秀会

産技研が運営等に携わる10の研究会

### 一般会員

- ・ 大企業
- ・ 中小企業
- ・ 小規模事業者等

団体会員 業界団体等

特別会員 支援機関等

産技研UCとして連携の幅をより広げていく部分

<企画委員会> 事業企画・運営協力を行う。

企画委員：会員及び産技研職員で構成する

- ・ 産技研が責任をもって会員様の連携活動の推進を担っていきます。

## 産技研UC 会員区分、会費等

会員の年間会費は、1口5,000円とし、会員の規模などに応じて決めました。

(1) 一般会員(中小企業基本法の製造業等の例による)

1. 小規模事業者並びに京都市指定の伝統産業(74品目)に従事する中小企業
2. 中小企業
3. 大企業(みなし大企業を含む)

(2) 団体会員: 中小企業組合などの連携組織。

(3) 特別会員: 大学、公的支援機関等、理事長が産技研UCの運営に必要と認めた団体。

(4) 研究会会員: 各種業界で設立され、産技研が事務局を担う、もしくは企画運営に携わる団体。

一般会員	小規模事業者等	1口以上	5,000円～
	中小企業	2口以上	10,000円～
	大企業	6口以上	30,000円～
団体会員		1口以上	5,000円～
特別会員		—	0円
研究会会員	50会員未満	6口	30,000円
	50会員以上	10口	50,000円